

小
一

氏名

な
が

が
い

い
の

の
ね

ね
。

。

さ
し

ん
。

お
は

は
な

な
が

が
い

ゾ
ウ

ウ
さ

さ
し

ん
。

ゾ
ウ

ウ

小二

氏名

小鳥になつて

野道を行けば

お手てつないで

小三

氏名

風

切

る

は

やす

さ

朝

日

を

あ

び

て

山

は

白

銀

小四

氏名

シヤボン玉飛んだ
屋根まで飛んだ
風、風、吹くな
シヤボン玉飛ばそ

小五

氏名

夕焼け小焼けの赤とんぼ
追われてみたのはいつの日か
山の畑の桑の実を小かごに
つんだはまぼろしか

小六

氏名

春の小川は、さらさら行くよ
海老や目だかや、小鮒の群れに
今日も一日、日向で泳ぎ遊べ
遊べと、さらさらやきながら

中

氏名

夕焼け小焼けの赤とんぼ
追われて見たのはいつの日か
山の畑の桑の実を小籠に
摘んだは幻か

氏名

里わの火影も、森の色も、
田中の小路をたどる人も
蛙のなきねも、かねの音も
さながら霞める 朧月夜